

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	生活科学部栄養科学科				
実施方法	① 通学 ( 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	4312003	—	2610011	—	6
講座の創設年月日 年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和11年 3月 31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数( 84人)	修了者数 ( 74人)	
訓練期間	48ヶ月		総訓練時間	4487時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 管理栄養士 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( )  教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 栄養士免許、食品衛生監視員・食品衛生管理者資格(任用資格)、 フードサイエンティスト資格、HACCP管理者資格				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	厚生労働大臣の指定する4年制の管理栄養士養成施設(大学・専門学校)を卒業し、国家試験に合格すること、又は栄養士免許取得後に1～3年の実務経験を経て、国家試験に合格すること。				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	管理栄養士・栄養士は、栄養指導や給食経営管理に必要な知識や技術を有した人材であり、栄養士法に規定された免許資格職である。管理栄養士・栄養士の配置が法令に規定されており、さらに、その対象となる施設は病院や学校、老人福祉施設等、非常に多岐にわたっている。				
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名			
①教養教育科目(必修7単位、選択必修4単位以上含む)24単位	1,142	別途シラバスにて指定			
②専門教育科目	3,345				
②のうち専門基礎分野(必修40単位、選択必修2単位以上含む)42単位					
②のうち専門分野(必修40単位、選択必修2単位以上含む)42単位					
①教養教育科目+②専門教育科目の最低修得単位数に加えて16単位					
<b>3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校を卒業した者、又はこれと同等の能力がある者				
③その他					

〔 特 記 事 項 〕

--

# 専門実践教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	74	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	84	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	74	人	受験率(③/②)	88.1	%
④ ③のうち合格者数	66	人	合格率(④/③)	89.2	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	73	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数			人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人			
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業	人			
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人			
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	人			
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業者	人			
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人			
	2 1割以上3割未満増加した	人			
	3 1割未満増加した	人			
	4 変わらない	人			
	5 1割未満減少した	人			
	6 1割以上3割未満減少した	人			
	7 3割以上減少した	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人			
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
	3 社内外の評価が高まる	人			
	4 早期に転職・再就職できる	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人			
	7 趣味・教養に役立つ	人			
	8 その他の効果	人			
	9 特に効果はない	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人			
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人			
	4 就職していない	人			
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	人			
	2 おおむね満足	人			
	3 どちらとも言えない	人			
	4 やや不満	人			
	5 大いに不満	人			

### (3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法(通信制講座の場合)	定期試験、授業毎に実施する小テスト、レポート、実技試験等をもって技能・知識のレベルの到達度を把握・測定する。
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>																			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	授業時間の2/3以上出席した者のうち、各科目のシラバスに表記している評価方法に基づき60点以上の評価を得た者に対して単位認定を行う。追再試験が認められる場合がある。																		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	定期試験、授業毎に実施する小テスト、レポート、実技試験等をもって技能・知識のレベルの到達度を把握・測定する。																		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学に4年以上在籍し、必修科目から87単位以上、選択科目から37単位以上、合計124単位を修得すること。																		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	本学に4年以上在籍し、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。																		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	オフィスアワーなどにより受講者からの質問に積極的に対応している。また、クラス担任制度を設けており、学生からの学修に関することだけでなく、様々な相談に応じている。																		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得については、教務課で単位認定に係る事務を行い、該当者には資格申請を一括して行っている。また、就職課を中心に求人の案内を学生に周知している。																		
<b>8. その他の事項</b>																			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 尚綱学園 (代表者名: 秋岡 廣宣)																		
住所及び連絡先	熊本県熊本市中央区九品寺2-6-78		TEL 096-364-0116																
施設名称及び施設長名	尚綱大学 (施設長: 坂田 敦子)																		
住所及び連絡先	熊本県熊本市中央区九品寺2-6-78		TEL 096-362-2011																
苦情受付者	氏名 片野田 要 所属 教務課	事務担当者	氏名 山下 雅史 所属 教務課																
連絡先	TEL 096-362-2011	連絡先	TEL 096-362-2011																
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		3,420,000 円																
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		220,000 円																
① 一括払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		3,200,000 円																
② 分割払	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10px;">第1期</td> <td style="width: 10px;">425,000 円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>375,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>425,000 円</td> </tr> <tr> <td>第4期</td> <td>375,000 円</td> </tr> <tr> <td>第5期</td> <td>425,000 円</td> </tr> <tr> <td>第6期</td> <td>375,000 円</td> </tr> <tr> <td>第7期</td> <td>425,000 円</td> </tr> <tr> <td>第8期</td> <td>375,000 円</td> </tr> </table>		第1期	425,000 円	第2期	375,000 円	第3期	425,000 円	第4期	375,000 円	第5期	425,000 円	第6期	375,000 円	第7期	425,000 円	第8期	375,000 円	(うち、必須教材費 0 円)
第1期	425,000 円																		
第2期	375,000 円																		
第3期	425,000 円																		
第4期	375,000 円																		
第5期	425,000 円																		
第6期	375,000 円																		
第7期	425,000 円																		
第8期	375,000 円																		
③ 両方可	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		1,510,389円																
① 任意の教材費(税込額)			188,659 円																
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)			0 円																
③ 施設維持費(税込額)			1,280,000 円																
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)			41,730 円																
3. 総額 (1+2) (税込額)			4,930,389 円																